



今号の内容

- 普及に移す試験研究成果の紹介
- 取り組み中の研究課題の紹介 など



大果で豊産性かつ『栗きんとん』の加工に適するクリ新品種「えな大豊」

【支所:勝見】



詳細はこちら

【背景と目的】

これまでに、主要品種である「丹沢」と「筑波」の端境期に収穫でき、『栗きんとん』への加工適性が高い「えな宝月」を育成しましたが、クリ栽培では受粉のため複数品種を混植する必要があります。そこで、『栗きんとん』への加工適性に優れ、豊産性で、「えな宝月」と同時期に収穫できる新品種を育成しました。

【成果の内容・特徴】

- 1 平成21年に「筑波」に「ぼろたん」を人工交配して得られた実生から選抜、令和6年8月に「えな大豊」として品種登録出願しました(出願番号37585号)。
- 2 収穫時期は「えな宝月」と同時期で、「丹沢」と「筑波」の端境期に収穫できます(表1)。
- 3 1果重は25.3gで「えな宝月」より大きく、不良果が少ないため収量性に優れ、また、『栗きんとん』への加工適性は「丹沢」や「筑波」より優れます(表1)。



表1 生育データ、収穫及び果実特性

品種	収穫期(月/日)		1果重 (g/果)	総収量 (kg/樹)	健全果率 (%)・果)	蒸し栗品質	
	始期	終期				果肉色	肉質
えな大豊	9/13	9/27	25.3	12.6	79	淡黄色	やや粉
えな宝月	9/13	9/26	20.4	11.4	74	黄色	やや粉
丹沢	9/4	9/16	23.4	9.7	61	やや淡黄色	中
筑波	9/21	10/6	24.9	13.9	58	淡黄色	中

収穫期、果肉色、肉質は2019～2023年の平均値

1果重、総収量、健全果率は成木前期(7～9年生)の3年間の単年度平均値

果肉色:黄色>淡黄色>やや淡黄色>乳白色

肉質:粉質>やや粉>中間>粘質



図1 子実



成木外観(12年生樹)

もち米品種「たかやまもち」に適した減プラスチック全量基肥肥料

【本所:小島】



詳細はこちら

【背景と目的】

「たかやまもち」では、全量基肥肥料を利用する生産者が増加していますが、プラスチック被覆肥料が主体であるため、環境負荷低減の観点からプラスチック使用量の削減が求められています。そこで、減プラスチック型の全量基肥肥料を用い、収量および品質に及ぼす影響を明らかにしました。



【成果の内容・特徴】

減プラスチック全量基肥肥料「Jコート500」で栽培すると慣行肥料(たかやまもち専用一発500)と比較して、以下のような特徴が認められました(表2)。

- 1 収量は慣行比で4%増加
- 2 千粒重は慣行と同等
- 3 白度・充実度は慣行より優れる

以上から、「Jコート500」は「たかやまもち」において、慣行肥料の代替として利用可能と考えられます。

表2 収量・品質調査結果

試験区	玄米 収量 (kg/10a)	収量 比率 (%)	千粒重 (g)	白度 (1-3)	充実度 (1-3)
慣行	569	100	22.4	1.5	2.0
Jコート500	592	104	22.4	1.0	1.5
分施	571	100	22.3	2.5	2.5

玄米収量・千粒重:令和5～6年度、水分15%換算

白度・充実度:令和5年度、検査員による評価(1→3=優→劣)

トルコギキョウ現地検討会で有望品種を評価 【本所：高橋】



【背景と目的】

飛騨地域で生産が盛んなトルコギキョウは、品種により草丈や花型、花色などの特性が大きく異なります。そこで、飛騨地域における品種特性および栽培適性を明らかにするために、産地での品種導入に向けた栽培試験を行っています。

【今回の成果と今後の見通し】

9月15日に、本所では、トルコギキョウ現地検討会を開催し、25品種について、生育状況や花型、花色などを、飛騨地域の生産者や種苗会社、関係者に評価していただきました。

検討会では、各品種の特徴や市場性について活発な意見交換が行われたほか、品質向上や安定生産につながる栽培管理のポイントについても情報共有を行いました。

今後は、評価結果を基に品種特性を整理するとともに、栽培適性の検証を継続し、産地への導入につなげていきます。



現地検討会における品質評価

Instagram を活用した情報発信

本研究所では、この春から「農業×研究」と題し、研究所の様子や研究成果を紹介する動画を、Instagram「ぎふアグリサーチ」に投稿しています。

今後も、さまざまな情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

Instagram「ぎふアグリサーチ」

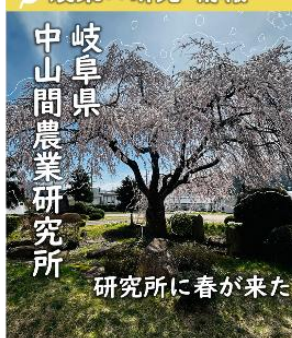
(岐阜県農政部公式)

研究成果や活動情報を配信中！

二次元コードからぜひご覧ください



農業×研究 情報



農業×研究 情報



農業×研究 情報



令和8年度 試験研究中間検討会を開催

本所では9月4日、中津川支所では8月26日にそれぞれ93名(職員20名含む)、68名(職員13名含む)のご参加をいただき、試験研究の進捗状況を試験ほ場等で紹介しました。皆様から多くのご意見・ご要望をいただき、有意義な検討を行うことができました。



○本所 検討会の様子

左：環境にやさしい生産管理技術の開発(夏ホウレンソウ)

右：モモ、リンゴ等の生産安定技術開発と品種選定

○中津川支所 検討会の様子

左：異常高温に対応可能なトマトの生産技術の開発

右：酒米「酔むすび」収量向上技術の確立

岐阜県
中山間農業研究所

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重二丁目6番56号
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <https://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

